学校番号	２００３

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)工芸演習Ｂ	単位数	１単位	年次	３年次 後期
使用教科書							
副教材等	プリント教材ほか						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々な工芸制作の素材を扱い、創作活動を行います。
工芸の知識・技能を身に着け道具の扱いを知り、素材の特性や良さを十分に生かして、文化を知るとともに「用の美」を追求し、個性と豊かな感性を発揮して授業に取り組んでください。
材料費の徴収があります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】素材の特性や道具の扱い、文化的な背景を知り、意図に応じて生かすとともに、生活や感情にもたらす効果や造形的な特徴などを考慮し、表現方法を工夫し主題を追求して創造的に表す。
【思考力、判断力、表現力等】工芸の用途と造形的な美しさを融合させ、目的や条件、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色、構造について考え、創造的な表現の構想を練る。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に目的や条件、自らの感性や思考などを基にした表現の創造活動に取り組み、完成させようとする。
主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、作者の意図や表現の工夫などについて思索し自らの感じ方や見方を深める鑑賞活動に取り組もうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・素材ごとの特性や扱い方を知り、それぞれの特性に合った道具の扱いを身に着ける。 ・工芸の各分野において、その文化的背景を学び、理解を深める。 ・造形的な視点に基づいて用途に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、社会的な視点を持つとともに個性をよく発揮し、主題を生成する。 ・創造的に発想し構想を練り価値意識をもって工芸や工芸文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。	・主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、工芸文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身に着ける。 課題の提出状況において十分に主体性が認められる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	羊毛等工芸	羊毛フェルト(ウェット技法)など 色彩計画 デザイン考案 型紙から作成し素材を加工、造形する	a:素材の特性・多様な加工法などについて知る。スライバーの特性やフェルト化の技能などを知り、身につける b:素材の特性を踏まえてアイデアを練り、用途に合わせたデザインを考案する 自らの感性を生かし、色彩計画を立て、造形的なよさや美しさの創出をめざす c:相互評価やグループワークを通して意見交換を行い、各自の創作表現を深める 粘り強く取り組み、細部まで高い完成度をめざす。	ワークシート、作品等提出物	ワークシート、作品等提出物	ワークシート、作品等提出物
		木彫(浮彫、沈め彫り)など	a:　素材や道具の特性・多様な加工法などについて知り、身につける b:素材の特性をよく理解しアイデアを練り、用途に合わせたデザインを考案する 自らの感性を生かし、造形的なよさや美しさの創出をめざす c:相互評価やグループワークを通して意見交換を行い、各自の創作表現を深める 粘り強く取り組み、細部まで高い完成度をめざす。	ワークシート、作品等提出物	ワークシート、作品等提出物	ワークシート、作品等提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度